

平成23年度 第2回 地盤工学表記法委員会
WG1&WG2合同
議事録

日 時	平成23年10月11日（水）15：00～17：00					場 所	3F中会議室		
委員長兼 WG1リーダー	岸田 隆夫	○	委員兼 幹事兼WG3 リーダー	伊貝 聡司	○				
委員兼WG1 兼WG3	鈴木 直子	○	委員兼WG1	石井 建樹	×	委員兼WG1	杉本 隆		○
委員兼WG1	福岡 秀基	×	委員兼WG1	谷 和夫	×	委員兼WG1	大熊 英二		○
委員兼 WG2リーダー	鈴木 明夫	○	委員兼WG2	久保 裕一	○	委員兼WG2	千葉 久志		×

(○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定)

議 題：

1. 前回議事録の確認（資料-23.2.1）
 - ・原案どおり承認された。

2. 基準部会報告（資料-23.2.2）
 - ・学会が作成するJIS規格とISOとの整合化に関する方針、規格・基準の英文化に関する議論について報告がなされた。

3. 地盤工学表記法委員会の検討項目（資料-23.2.3）
 - ・データシートの現状は、様式を管理するとともに、学会HPより無料でダウンロードできる体制を構築している。また、規格・基準の改訂、新規制定時には、様式のチェックを実施している。
 - ・データシートの実態について、学会HP等を活用し、学会員に広くアンケート調査を実施し、把握することが望ましいと考える。
 - ・中長期の方向性について整理する必要がある。例えば、現状のデータシートでは記載されない試験データの高度利用に活用するための、デジタルデータ報告形式を統一するなど。
⇒WG2で中長期の方向性について、案をまとめ、次回委員会で検討する。

4. 標準用語について（資料-23.2.4、23.2.5）
 - ・標準用語一覧について、以下の点を追加・修正の上、学会HPにアップする（伊貝幹事担当）。
 - ①. 標準キーワードが廃止された旨を明記
 - ②. 理事会承認日および誤植等修正日を明記
 - ③. 英語表記の大文字をチェックし修正

5. 執筆要領について（資料-23.2.7）

- ・用語、用字で、句読点の表記法について明記する。
- ・事例で使っている規格、基準番号を最新版とする。
- ・括弧の使い方について、用語辞典等との整合性を確認する。
- ・上記以外の点も含め、地盤工学会誌の執筆要領（案）のチェックを実施する（伊貝幹事担当）

6. レキシコンについて（資料-23.2.6）

- ・英文に誤植と想定される部分が多く認められるため、原典を確認する必要がある。また、対訳についても文法的に再考を要するもの、和訳を修正すべき部分などがある。
- ・修正が必要な部分を整理・分類（色分けの意味等）する（杉本委員担当）
- ・次回委員会で、確認し、国際部へ再提出するものとする。

7. その他

- ・特になし

8. 次回委員会

- ・第3回：平成23年12月14日（水）15:00～17:30
- ・第4回：平成24年2月14日（火）15:00～17:30

配布資料：

資料番号	資料
資料23-2-0	議題書
資料 23-2-1	前回議事録
資料 23-2-2	基準部会報告
資料 23-2-3	地盤工学表記法委員会の検討項目
資料 23-2-4	標準用語_要望
資料 23-2-5	標準用語一覧_表紙
資料 23-2-6	レキシコン修正
資料 23-2-7	執筆要領改正提案